



平成 23 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 筑 邦 銀 行
 代 表 者 取締役頭取 佐 藤 清 一 郎
 本 社 所 在 地 久留米市諏訪野町 2456 番地の 1
 (コード番号 8 3 9 8 福証)
 問 合 せ 先 取締役総合企画部長 東 暢 昭
 (TEL 0942 - 32 - 5353)

平成 23 年 3 月期の有価証券評価損及び業績予想の修正に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 23 年 3 月期において減損処理による有価証券評価損を、下記「1. 平成 23 年 3 月期における有価証券評価損」のとおり計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 22 年 11 月 12 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の業績予想について、下記「2. 業績予想の修正について」のとおり修正いたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期における有価証券評価損

	単体	連結
(A) 平成 23 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額 (=イ - ロ)	151 百万円	151 百万円
(イ) 平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	247 百万円	247 百万円
(ロ) 平成 23 年 3 月期第 3 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	398 百万円	398 百万円

注 1 四半期における時価のある有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

2 当行の決算期末は、3月31日です。

3 上記「(A) 平成 23 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額 (=イ - ロ)」は、151 百万円の戻入となっております。

4 有価証券の減損処理基準

- (1) 期末日(四半期末を含む。以下同。)における時価が取得原価に比べて 50%以上下落した銘柄については、一律減損処理しております。
- (2) 期末日における時価が取得原価に比べて 30%以上 50%未満下落した銘柄のうち、時価の回復可能性が認められないと判断した銘柄を減損処理しております。

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 22 年 3 月期末の純資産の額	27,774 百万円	30,511 百万円
(A) / (B) × 100	0.5%	0.4%
(イ) / (B) × 100	0.8%	0.8%
(C) 平成 22 年 3 月期の経常利益額	844 百万円	1,044 百万円
(A) / (C) × 100	17.8%	14.4%
(イ) / (C) × 100	29.3%	23.7%
(D) 平成 22 年 3 月期の当期純利益額	303 百万円	299 百万円
(A) / (D) × 100	49.7%	50.4%
(イ) / (D) × 100	81.5%	82.8%

2. 業績予想の修正について

(1) 単体業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,600	1,380	750	12 円 03 銭
今回発表予想 (B)	12,340	1,450	700	11 円 23 銭
増減額 (B) - (A)	260	70	50	
増減率 (%)	2.0%	5.0%	6.6%	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	13,454	844	303	4 円 87 銭

(2) 連結業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,750	1,600	760	12 円 19 銭
今回発表予想 (B)	17,500	1,750	710	11 円 39 銭
増減額 (B) - (A)	250	150	50	
増減率 (%)	1.4%	9.3%	6.5%	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	18,581	1,044	299	4 円 80 銭

(3) 業績予想修正の理由

単体業績予想修正の理由

市場金利等の低下を背景に経常収益が予想を下回る見通しとなりましたが、企業倒産の減少に伴い貸倒引当金が取崩となることなどを主要因に、経常利益が予想を上回る見通しとなりました。一方で、当期純利益は法人税等の負担の増加に伴い予想を下回る見通しとなりました。

連結業績予想修正の理由

主に単体業績予想の修正によるものです。

本資料に記載されている予想数値は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。

筑邦銀行 総合企画部

電話 0942 - 32 - 5353